

中学校の最高は、小学校と同じく給食用施設設備費が193.1で、最低は兼務教員の給与費23.9で、格差が大きい。全日制高校の支出項目別の格差は大きいですが、教授費のうちの特活、学校行事費の指数が小さいことは一つの問題となる。他の学校種別での教授費の指数が大きいのに対し、定時制高校では、資本的支出の指数が大きい。単年度の教育費配分ではあるが、合理的な配分の必要を要請しているものと考えられる。

〔施策の目標と内容〕

予算編成過程の合理化の項においてみたように、教育施策の実施を裏づける教育費として施策に焦点づけられた合理的な配分が検討される必要がある。

### 第4節 本県教育費の将来（想定）

#### 1 本県教育の規模と教育費支出構造の推移

本県の教育費の将来を推定する手がかりをつかみ、教育費支出構造の改善資料をうるために地

第11表 昭和30～39年度の教育規模と教育費支出構造の推移（小 学 校）

	昭 30	31	32	33
<b>1 教育規模の推移</b>				
(1) 学 級 数	7,161	7,323	7,579	7,966
(2) 児 童 数	298,810	305,038	317,913	337,497
(3) 教 員 数	8,686	8,718	8,946	9,416
(4) 1学級当り児童数	41.7	41.7	41.9	42.4
(5) 1学級当り教員数	1.21	1.19	1.18	1.18
(6) 教員1人当り児童数	34.4	35.0	35.5	35.8
(7) 児童1人当り教員数	0.0291	0.0286	0.0281	0.0279
<b>2 教育費支出構造の推移</b>				
(1) 実 額				
教 育 費 総 額 (千円)	3,522,049	3,646,639	4,084,192	4,595,627
教員給与費・消費的支出(%)	2,218,139	2,209,602	2,544,072	2,881,688
その他の消費的支出(%)	796,067	814,188	869,071	904,470
資 本 的 支 出 ( % )	507,843	622,849	671,049	809,469
(2) 同 上 構 成 比				
教 育 費 総 額 ( % )	100.0	100.0	100.0	100.0
教員給与費・消費的支出(%)	63.0	60.6	62.3	62.7
その他の消費的支出(%)	22.6	22.3	21.3	19.7
資 本 的 支 出 ( % )	14.4	17.1	16.4	17.6
(3) 児童1人当り教育費				
教 育 費 総 額 (円)	11,787	11,955	12,847	13,617
教員給与費・消費的支出(%)	7,423	7,244	8,002	8,539
その他の消費的支出(%)	2,664	2,669	2,734	2,680
資 本 的 支 出 ( % )	1,700	2,042	2,111	2,398
(4) 教 員 平 均 給 与	255,369	253,452	284,380	306,041
(5) 教員給与に対する其他消費的支出の比率	35.9	36.8	34.2	31.4
(6) 消費的支出に対する資本的支出の比率	16.8	20.6	19.7	21.4